

作成日：西暦 2026年2月9日

「新規育児不安尺度開発 一出産施設退院後早期の育児不安に着目して」
に参加された方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

新規育児不安尺度開発 一出産施設退院後早期の育児不安に着目して

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2028年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学 産業保健学部 看護学科

4. 研究責任者

産業医科大学 産業保健学部 看護学科 教授 森本 眞寿代

5. 研究の目的と意義

本研究の目的は、出産施設退院後早期の育児不安の尺度開発と信頼性・妥当性を明らかにすることである。

本研究の意義は、先行研究で行った質的研究の母親の語りを質問項目に反映し、育児不安の有無と育児不安の内容が把握しやすく、重点支援の必要な母親に対し支援の具体化に繋げやすいことです。退院後早期からの継続支援にも具体性が出て、育児のしづらさを感じる母親数の減少が期待できます。

6. 研究の方法

本研究は、2021年2月12日から2022年12月31日までの期間に、西九州大学において実施されたアンケート調査で得られた既存のデータを用いて行います。

本研究では、これらの既存データに対して統計的分析を行い、母子保健に関する基礎的資料を得ることを目的としています。

なお、本研究において新たな調査や介入は行いません。

7. 個人情報の取り扱い

アンケートは無記名で実施されており、個人を特定できる情報は含まれていません。また、得られたデータは分析する前に新しく符号をつけ、研究責任者が管理し、個人情報の漏洩を防止します。この研究で得られたデータは、院内の規定に従い、原則として、当該論文等の発表後 10 年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報が外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータを同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・ 学術発表など研究目的：あり
- ・ 第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業保健学部 看護学科
教授 森本 眞寿代（093-603-1611（代））

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。

本研究は、本学運営費（講座研究費）により、本学の研究責任者のもとで公正に行われます。本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。